

やなかわ

YANAGAWA 2014.

no.212

1月15日

今号の内容

ページ

- ◆市県民税の申告は3月17日まで 2~3
- ◆市臨時・嘱託職員を募集 3
- ◆市民のひろば(4-5) ◆俳句(5) ◆情報わいど(6-9) ◆がんばったね・ぬくもり(10) ◆もちふみデビュー(11) ◆人権・同和教育シリーズ(12)



新年を力強くキックオフ

筑後地区の各中学校を会場に12月21日と23日、第23回筑後地区中学校サッカー交流大会が開かれました。1、2年生を主体とした同大会に、筑後地区47校のサッカー部が参加。市内では柳城中学校と三橋中学校を会場に行われ、選手たちは冷たい風が吹く中、白熱した試合を繰り広げました。

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。今回は、蒲池小学校4年生の2人です。

平和学習で思ったこと



北岡 里奈子 さん

私は、平和のことを学習して、私たちの住む福岡県にもばくだんが落とされていて、多くの人がなくなったことを知りました。焼けあとで家族をさがす人たちは、男か女か、老人か子どもかも分からない死体をたしかめながら歩き続けたと聞き、悲しくなりました。

戦争があると、たくさんの方がなくなり、つらい思いをします。私のひいおじいちゃんも、戦争に行つてなくなつたそうです。

今、私たちは、当たり前のように

うに食事をし、学校に行つて勉強をし、友達と遊んでいます。夜はぐっすりねむっています。この当たり前だと思つていたら全部が、平和だからできると気づきました。だから、これから先ずつと国と国で争わないでほしいです。

私たちにできることは、周りの人と仲良くすることだと思えます。だから、私は、相手の気持ちを考え、思いやりの心を大切にしていきたいです。

やっぱり友達



内藤 花奈 さん

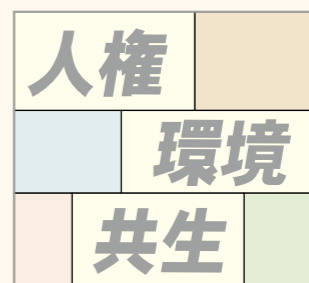
私は、仲良くしてきた友達と

けんかをしました。その後もけんかをしていてしゃべらないで顔もあわせていませんでした。私は、その時は、友達が悪いとしか思つていませんでした。だから、遊ばない日が続きまして。しばらくして、自分も悪いところがあったし、さびしくなつてあやまりたいなとも思つていたら、友達から「ごめん。」と言われました。私も「ごめんね。」と言いました。

私は、あやまれてすつきりしました。友達も、ごめんねと言いたかつたんだと思います。やっぱり友達だから、同じことを思つているんだと思いました。

もうけんかは、したくありません。さびしいだけじゃなく、学校に行くのも楽しくないからです。これからは自分のことだけでなく、もっと相手のことも考えるようにしていきます。

みんなが仲良く、楽しいと思える学校になつていくために。



【評】蒲池小学校では、「約束や決まりを守り、誰にでも優しく、思いやりのある子ども」を目指して、子どもたちは毎日学校生活を送っています。二人のように、みんなが、相手の気持ちを考え、思いやりのある心を大切にしてくれると、必ず争いのない、楽しい毎日になります。

みんなと力を合わせて頑張っていきましょう。応援しています。